

様式第2号

平成28年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第2回) 会議概要

1	審議会名	平成28年度 第2回地域包括支援センター運営協議会
2	日時	平成28年11月2日(水) 13時00分から15時15分
3	会場	安曇野市役所本庁舎 3階 全員協議会室
4	出席者	宮澤会長、高橋副会長、西委員、高山委員、金井委員、湯澤委員、宮下委員、 岩原委員、黒澤委員、増田委員、山田委員、奥村委員、奥永委員 欠席：佐藤委員
5	市側出席者	堀内保健医療部長、古畑介護保険課長、藤原介護保険課長補佐、 西澤介護保険担当係長、平田認定調査係長、新保介護予防担当係長 中央地域包括支援センター：藤澤(宏)主任介護支援専門員、宮入社会福祉士、 藤澤(芳)保健師 南部地域包括支援センター：山岸看護師、丸山主任介護支援専門員、蛇平社会福祉士 北部地域包括支援センター：渡邊主任介護支援専門員、佐藤社会福祉士、伊藤保健師、土崎介護支援専門員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年3月23日
協 議 事 項 等		
I	会議の概要	
1	開会	
2	部長挨拶	
3	会長挨拶	
4	協議	
	(1)	平成28年度地域包括支援センター事業中間報告について
	(2)	平成28年度介護予防支援業務委託先事業所の承認(追加)(案)について
5	その他	
	(1)	介護予防・日常生活支援総合事業について
	(2)	委員の任期について
	(3)	認知症市民フォーラムについて
	(4)	市歯科医師会主催 いい歯の日無料歯科検診について
6	閉会	
II	協議内容	
4	協議	
	(1)	平成28年度地域包括支援センター事業中間報告について
	委員：	当市の被成年後見数と、足の確保の現状と課題は何か。
	事務局：	かけはしに安曇野市からお願いした法人後見数は、平成28年9月30日現在で15件、累計で25件となる。足の確保は県レベルでも議論されているが、当市においては、あづみんとタクシーの線引き等の課題がある。
	委員：	高齢者虐待において、身体的な介護等で関わっている職種から把握することは可能か。
	委員：	児童では歯科集団検診により、治療されているかを把握することは可能。だが、高齢者には集団健診はなく、また金銭的な面により治療されていない可能性もあり、虐待を判断することは難しい。
	委員：	高齢者虐待にどのように関わっているのか。
	事務局：	息子との2人暮らしで、息子の暴力により、本人を短期入所させた事例がある。虐待の理由は、息子の未就労を本人が咎めたことによるものであり、その後、息子が就職したことにより、2人暮らしに戻った。関係機関には異変があれば、連絡をお願いしている状況。

委員：足の確保は、難しいのが現状。認知症の場合、介助者が同乗することがベストだが、その運賃等、課題がある。

委員：高齢者の通院においても、同乗者の問題がある。

委員：地域ケア個別会議に参加し、良く理解できた。ただ、会議の参加者や内容の多さに、今後の継続を心配した。会議はすごく良く、その質を維持してもらいたい。

事務局：地域全体の課題となるものを扱っているが、今後も見直しを検討したい。

委員：地域ケア個別会議の開催は、地域を含めた関係者の共通認識にも役立っている。

委員：市の会議が重ならないようお願いしたい。また、地区において老人クラブも指名できないか。

事務局：会議の重複等は配慮したい。また、指名については地区毎の考えもある。

《質疑なく承認》

(2) 平成 28 年度介護予防支援業務委託先事業所の承認（追加）（案）について

《質疑なく承認》

5 その他

《質疑なし》

(第 2 回地域包括支援センター運営協議会閉会)